

第5回 那覇空港滑走路増設事業環境監視委員会

第4回委員会の指摘事項と対応方針

平成28年1月14日

内閣府沖縄総合事務局

国土交通省大阪航空局

第4回那覇空港滑走路増設事業環境監視委員会の指摘事項と対応方針

●資料3 事後調査及び環境監視調査の概要について

項目	委員意見	対応方針
水質・底質	表層であれば、河川からの影響もあるため、浅いながらも躍層ができる可能性がある。サンプリングの採水方法等により、測定値がバラつくことがあるため、現場で鉛直分布を確認した上で、採水すると良い。(資料3)(桑江委員)	水質調査は、平常時を対象とし、海面下0.5m層より採水している。今後の調査にあたっては、採水のタイミングに配慮し、水温・塩分の鉛直方向データも加味した調査結果の考察を行う。
海域生物	海域生物については、種組成を考慮して考察すると良い。(資料3)(土屋委員長)	種組成については、資料4本編にデータを入れており、地点毎の変動をみている。種類数、個体数で変動がみられた際に考察するためのデータとして、活用している。種組成で示すことが有効と考えられる生物群(底生動物)に対してデータを整理して情報を示す。(資料4参照)
	カワツルモの生育環境について、塩分濃度は低くても生育するようであるが、今後、工事によって海水の流入が阻害され、淡水化するとカワツルモは消滅してしまうため、十分注意すると良い。(山里委員)	カワツルモについては、塩分計による連続観測も併せて行う。(資料4参照)

●資料4 海域生物の移植(サンゴ類)について

項目	委員意見	対応方針
有性生殖	有性生殖の採苗率20%はまあまあ良い成績であると考える。なお、採苗率の散布図に石西礁湖などの他の結果と併記しているが、器材等が異なる場合があるので、採苗率は一概に比較できないのではないか。また、散布図では低採苗域となっているが恩納村や慶良間は低採苗域にならないと考えられるため、作図に使用したデータについて再確認すると良い。(資料4-1-40, 43)(山里委員)	恩納村や慶良間の調査方法、調査結果を再確認したが、那覇空港以外の地域でも同様の着床具を用いる点では、比較可能な調査結果であった。なお、恩納村、慶良間の有性生殖の採苗率は、石西礁湖に比べて着床具の設置位置等についてデータが蓄積されていない状況にあるものと考えられる。

●その他 土屋委員長から

項目	委員意見	対応方針
全体	<p>次回からは具体的な種組成のグラフを用意すること。移植したサンゴの周辺の生物相(魚、ペントス)に関しても種数だけでなく、種の組成に関する具体的な情報があれば議論が深まる。</p>	<p>種組成で示すことが有効と考えられる生物群に対してデータを整理して情報を示す。</p>
	<p>データが多くなってくると時間が足りなくなる。次回から、委員会を3時間にしてはどうか。</p>	<p>委員会の時間について、検討する。</p>